





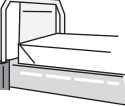


# 1 環境調整の技術

- ・入院患者にとって療養環境は日常生活を行う空間であり、清潔で安全・安楽・安心に過ごせる空間を提供する必要がある
- ・清潔に留意した環境調整は、感染予防と快適な日常生活につながり、安心につながる。
- ・適切な療養環境は、治療や生活活動に意欲、安寧をもたらし、健康回復・保持・増進につながる。
- ・環境の要素の中に、物的なもの以外に援助者も含まれ、患者に説明や同意を得てプライバシーを配慮した対応が必要である。

必要物品と実施手順	評価基準・指導方法
<p><b>1. 病室環境整備</b></p> <p>①患者に環境整備を行うことを説明・了承を得る</p> <p>②窓を開け換気を行う</p> <p>③ベッド上やシーツを整える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベッドの上にタオルや衣類など不必要な物があつたらかたづける</li> <li>・上掛けのカバーのひもはすべて結んであるか確認する</li> <li>・シーツのしわを直す</li> <li>・シーツや上掛けが汚染されていたら交換する</li> </ul> <p>④床頭台、オーバーテーブル、ベッド下などの整理・整頓、物は最小限にする（原則：床には物を置かない）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・床頭台の上（テレビ周囲） リモコン、湯のみ、吸いのみ ティッシュペーパーなどを置く</li> <li>・オーバーテーブル 食事以外はできるだけ物は置かないようにする。また使用しないときには邪魔にならない場所に寄せておく</li> <li>・引き出しには、箸やスプーンなど食事に必要な物や洗面用具を入れておく</li> <li>・衣装棚には着替え用のパジャマや肌着、タオル、下着類を入れる</li> <li>・床頭台の上の扉には、オムツやおしり拭き、泡石鹸などを入れる</li> <li>・ベッド下は靴、スリッパ以外の物は置かない</li> </ul> <p>⑤床頭台、オーバーテーブル、ベッド柵、面会用の椅子などを水道水で拭く 注）感染症があるときは、0.1%次亜塩素酸ナトリウム液で清拭し2度拭き</p> <p>⑥オーバーテーブルや床頭台の車輪が動くか確認する</p> <p>⑦室内照明、ベッドランプがつくか確認する</p> <p>⑧ベッドランプのかさのほこりをとる</p> <p>⑨カーテンは、汚れやほつれ、破れがあつたら交換を師長に伝え、師長が施設課へ依頼する</p> <p>⑩カーテンフック・レールの外れがないか確認する</p> <p>⑪ベッド周囲には、車椅子や点滴棒など不必要な物品は置かない</p> <p>⑫ベッドのストッパーがかかっていることやベッドのギャッチハンドルが収納されているか確認する</p> <p>⑬プライバシーに配慮できる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポータブルトイレ、尿器など24時間使用している場合は、臭気に配慮、適宜かたづける</li> <li>・ベッドサイドでの排泄を余儀なくされている場合は、面会者や同室者の目に触れないようにポータブルトイレや便器にカバーをかける</li> </ul>	<p><b>&lt;評価基準&gt;</b></p> <p>(1) 説明と同意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備の目的を述べるができる</li> <li>・患者または家族に環境整備の説明ができる</li> </ul> <p>(2) プライバシーの配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り患者の希望を聞き整えることができる</li> <li>・安静時や面会者がいるときなどは了解を得てから実施する。または改めて実施するなどの配慮ができる</li> <li>・ポータブルトイレや尿瓶などにはカバーをかけ、他人の目にふれないよう配慮することができる</li> </ul> <p>(3) 安全・安楽</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施手順に沿って実施できる</li> <li>・可能な限り患者の希望を取り入れることができる</li> <li>・転倒・転落を考慮しながらできる</li> </ul> <p>(4) 感染防止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用したコップ、スプーン、箸などは直ちに洗い、水分を切って所定の位置におくことができる</li> <li>・食べ残しがあつたら、確認して直ちに破棄することができる</li> <li>・決められた方法で環境整備ができる</li> </ul> <p><b>指導方法</b></p> <p>(1) 患者家族への説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい言葉で説明する</li> <li>・患者・家族が理解または納得できるよう専門用語や略語は使用しない</li> </ul> <p>(2) 安全・安楽の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備の方法を確認する</li> <li>・生活しやすいスペースやプライベート空間を確保できたか確認する</li> <li>・転倒、転落防止を考慮しているか確認する</li> <li>・感染予防を意識しながら実施しているか確認する</li> </ul> <p>上記の事項を確認しながら一緒に実施し、正しい技術が習得できるよう導く</p>

必要物品と実施手順	評価基準・指導方法												
<p>・面会者がいる場合は、カーテンを閉め、プライベート空間を確保する</p> <p>⑭廊下、通路の整備を行い安全に配慮する (車椅子、ストレッチャーなど置いたままにしない)</p>													
<p><b>覚えておこう！</b> 生活環境には、物的環境と人的環境があり、それぞれの環境を把握した上で調整を行う</p> <p>a) 物的環境・・・温度、湿度、光、音、臭いなど</p> <p>①院内は空調完備されているが、病棟の位置や構造によって、各病室に温度差が生じるため、訪室の際には温度の調整を適宜行う（患者の個人差に配慮し適度な温度・湿度の調整を行う）</p> <table border="1" data-bbox="271 629 587 730"> <tr> <td>温度・湿度目安</td> </tr> <tr> <td>室温・・・20±2℃</td> </tr> <tr> <td>湿度・・・50±10%</td> </tr> </table> <p>②換気による空気の入替えを適宜行い、空気清浄を行う</p> <p>③排泄物など特有な臭気の交換、除去を行い、必要に応じ芳香や消臭器など使用する</p> <p>④生活行動に必要な照明や音に対しても調整する必要がある（表1参照）</p> <p>表1</p> <table border="1" data-bbox="267 859 758 971"> <thead> <tr> <th></th> <th>昼</th> <th>夜</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>照明</td> <td>150～200ルクス</td> <td>1～2ルクス</td> </tr> <tr> <td>音</td> <td>50デシベル以下</td> <td>40デシベル以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>（環境省騒音に係る環境基準）</p> <p>b) 人的環境・・・医療従事者、同室者との人間関係、生活習慣、プライバシーなど</p>		温度・湿度目安	室温・・・20±2℃	湿度・・・50±10%		昼	夜	照明	150～200ルクス	1～2ルクス	音	50デシベル以下	40デシベル以下
温度・湿度目安													
室温・・・20±2℃													
湿度・・・50±10%													
	昼	夜											
照明	150～200ルクス	1～2ルクス											
音	50デシベル以下	40デシベル以下											
<p><b>2. ベッドメイキング（シーツ交換）</b></p> <p><b>必要物品</b> シーツ 上掛けカバー 枕カバー</p> <p><b>実施手順</b></p> <p>①患者にシーツ交換することを説明し承諾を得る</p> <p>②歩行可能な場合は、退室してもらう</p> <p>③以下の実施手順に沿って行う</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ベッドの高さを調節する</li> <li>(2) ベッドのストッパーがかかっていることを確認する</li> <li>(3) 窓を開ける</li> <li>(4) 無駄な動きがないよう必要物品をそろえる</li> <li>(5) 横シーツは原則使用しない</li> <li>(6) 交換後、汚れたシーツはゴミが飛ばないようにまるめて、汚染用ランドリーに入れる</li> <li>(7) 血液、尿、便などで汚染されているシーツ類は感染性ビニール袋に入れ、日付と汚染名部署名を明記し汚染用ランドリーに入れる</li> </ol> <p>シーツ交換の手順</p> <p>①マットレスパットの中心にシーツの中心を合わせる</p> 	<p><b>評価基準</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 説明と同意             <ul style="list-style-type: none"> <li>・シーツ交換の目的を述べるができる</li> <li>・患者にシーツ交換を説明し、同意を得ることができる</li> </ul> </li> <li>(2) プライバシーの配慮             <ul style="list-style-type: none"> <li>・安静時や面会者がいるときは患者、面会者に了解を得る。もしくは改めて実施するなどの配慮ができる</li> </ul> </li> <li>(3) 安全・安楽             <ul style="list-style-type: none"> <li>・安静を強いられている患者のシーツ交換は2人で実施することが望ましい</li> <li>・実施手順に沿って交換ができる</li> </ul> </li> <li>(4) 感染防止             <ul style="list-style-type: none"> <li>・血液などで汚染された寝具は決められた方法で分別できる</li> </ul> </li> </ol> <p><b>指導方法</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 患者家族への説明             <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい言葉で説明する</li> <li>・患者・家族が理解または納得できるよう、専門用語や略語は使用しない</li> </ul> </li> <li>(2) 安全・安楽の確保             <ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に実施し、基本的な看護技術を習得し</li> </ul> </li> </ol>												

必要物品と実施手順	評価基準・指導方法
<p>②枕元の余分なシーツをマットレスの下に入れる</p> <p>③足元の余分なシーツをマットレスの下に入れる</p> <p>④以下の手順で角を三角に整える</p> <p>⑤しわをつくらないようにシーツは対角線に引っ張る</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">① </div> <div style="text-align: center;">② </div> <div style="text-align: center;">③ </div> <div style="text-align: center;">④ </div> <div style="text-align: center;">⑤ </div> <div style="text-align: center;">完成 </div> </div>	<p>ているか確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>褥瘡予防や感染防止を考慮し実施しているか、以下の事項を確認する       <ol style="list-style-type: none"> <li>①シーツのしわを伸ばす</li> <li>②汚染物の後片付けが正しくできる</li> </ol> </li> </ul>